

主催：文化庁

社会全体で文化財を継承していくための方策に関する研究協議会

文化財サポーターフォーラム

第2回 ～日本中みんなが文化財を守りたい～

平成20年 10月7日(火) / 10月8日(水)

九州国立博物館 (福岡県太宰府市石坂4-7-2)

パネル展示・交流ひろば ●九州国立博物館エントランスホール

10月7日(火)、8日(水) 9:30～17:00

講演会 ●九州国立博物館ミュージアムホール

10月8日(水) 12:30～16:50

文化庁では、文化財の保存と活用に対する支援活動等に、社会全体の積極的な参加を求めていくためには、全国各地の保存団体、市民団体やNPO法人等の活動を調査し、その情報を提供するとともに、それらの団体と行政および団体等相互の連携・協力を促すことが重要と考えています。

このため、平成19年度から「文化財サポーター制度(仮称)の構築に関する調査研究」を実施し、それらの団体等の活動状況に関する調査を行っていますが、このたび、平成19年度の調査研究の進捗状況等を踏まえて、市民団体等が活動しやすい環境の整備や人々が積極的にその活動に参加する機運を醸成するために必要な方策や枠組について研究・協議を行うことを目的として、この研究協議会を開催します。

講演会プログラム(予定)	時間	内容
	12:30	講演会受付
	13:00	開会挨拶 文化庁文化財部伝統文化課 有松 育子
	13:10～13:40	基調講演 九州国立博物館 三輪 嘉六
	13:40～14:10	活動報告① 「学校を作り職人を育てる」 小川 規三郎/NPO法人博多織技能開発養成学校・ 重要無形文化財「献上博多織」保持者
	14:10～14:40	活動報告② 「世界遺産 石見銀山の歴史と文化を伝える」 和上 豊子/石見銀山ガイドの会
	14:40～15:10	活動報告③ 「地震・自然災害から文化財を救い町の復興へ」 奥村 弘/神戸大学
	15:10～15:30	休憩
	15:30～16:40	協議 コーディネーター 森田 稔(九州国立博物館) パネリスト 中村 信喬(博多人形師/日本工芸会会員) 赤司 善彦(九州国立博物館) 磯村 幸男(福岡県教育委員会文化財保護課)
	16:40～16:50	閉会挨拶 文化庁文化財部伝統文化課 有松 育子

開会／閉会挨拶

有松 育子（ありまつ いくこ） 文化庁文化財部伝統文化課長



1982年早稲田大学法学部卒業。

82年文部省入省、男女共同参画学習課長、調査企画課長、内閣府参事官（青少年育成担当）などを経て、2007年4月より現職。

基調講演

三輪 嘉六（みわ かるく） 九州国立博物館長



日本大学史学科卒業。奈良国立文化財研究所研究員、文化庁主任文化財調査官、東京国立文化財研究所修復技術部長、文化庁美術工芸課長、同庁文化財鑑査官、日本大学教授を経て、1998年より九州国立博物館設立準備室室長、2005年より現職。文化審議会文化財分科会専門委員、独立行政法人評価委員会委員（文化分科会）をはじめ、各地で文化財の保存・活用についての各種委員を務める。99年から文化財保存修復学会会長に就任。

専門は考古学、博物館学、文化財学。

著書に『日本馬具大観Ⅰ～Ⅳ巻』（編著、吉川弘文館）、「家形はにわ」（『日本の美術』至文堂）、「美術工芸品をまもる修理と保存科学」（『文化財を探る科学の眼5』国土社）、「Horses in Ancient Times」（『Horses and Humanity in Japan』The Japan Association for International Horse Racing）、「文化遺産危機管理的基本課題」（『1999台湾集々大地震－古蹟文物震災修復技術諮詢服務報告書－』台湾国立文化資産保存研究中心）など多数。

活動報告1「学校を作り職人を育てる」

小川 規三郎（おがわ きさぶろう） NPO 法人博多織技能開発養成学校校長・重要無形文化財「献上博多織」保持者



1936年11月30日生まれ。

15歳のころより父・善三郎（昭和46年重要無形文化財「献上博多織」保持者に認定）に師事し、伝統的な献上博多織の制作技法を学ぶ。

83年第30回日本伝統工芸展初入選。86年第23回日本伝統工芸染織展で「変り間道帯」が日本工芸会賞。94年第31回日本伝統工芸染織展で「縞献上浮織帯」が日本経済新聞社賞。翌年博多織献上研究会による「五色献上」復元事業に参加。96年「博多織」が福岡県指定無形文化財に指定され、所属団体である「博多織技術保持者会」が保持団体に認定される。

87年日本工芸会正会員。2003年黄綬褒章、重要無形文化財「献上博多織」保持者に認定。

活動報告2「世界遺産 石見銀山の歴史と文化を伝える」

和上 豊子（わかみ とよこ） 石見銀山ガイドの会 会長



1964年島根大学教育学部卒業。

1964～2002年島根県教員。

02年石見銀山ガイドの会に入会。

大田市教育委員。

活動報告3「地震・自然災害から文化財を救い町の復興へ」

奥村 弘（おくむら ひろし） 神戸大学地域連携推進室長



1983年神戸大学文学部卒業、85年同大学大学院文学研究科修士課程（史学専攻）修了、86年同大学大学院文化学研究科博士課程（社会文化専攻）退学。

86年京都大学人文科学研究所助手（日本社会）、91年神戸大学文学部助教授、95年同大学大学院文化学研究科博士課程担当、2005年同大学地域連携推進室副室長、06年同大学人文学研究科教授を経て、07年より現職。

歴史資料ネットワーク代表委員、姫路市香寺町史編纂委員。

著書に、「震災資料の調査・保存・活用－災害についての歴史文化の基礎をどうつくるのか－」、『阪神大震災研究5 大震災を語り継ぐ』（神戸大学震災研究会編神戸新聞総合出版センター、pp203-224、2002）、「阪神・淡路大震災後の歴史資料の保全と歴史資料ネットワーク」（兵庫県政資料館『兵庫のしおり』第5号、pp62-87、2003）、「地域社会の成立と展開」（歴史学研究会日本史研究会編『日本史講座』第7巻、近世の解体、東京大学出版会、pp65-97、2005）がある。

協議

●コーディネーター

森田 稔（もりた みのる） 京都国立博物館学芸課長



1978年広島大学文学部史学科考古学専攻卒業、80年名古屋大学大学院文学研究科考古学専門博士課程（前期）修了。神戸市教育委員会文化財課学芸員、神戸市立博物館学芸員、文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官・文化財管理指導官を経て、2004年から現職。

専門は考古学、特に窯業史、金工史。文化財学。

著書に『考古資料集成第6巻 弥生・古墳時代 青銅・ガラス製品』（共編著、小学館、2003）、「縄文・弥生・古墳」（『アジア陶芸史』、昭和堂、2001）、「つたえる－災害を越えて－阪神・淡路大震災と文化財－」（『よみがえる文化財芸術と科学の接点』、文化財保存修復学会編、クバプロ、1995）がある。

●パネリスト

中村 信喬（なかむら しんきょう） 博多人形師・日本工芸会会員



1957年福岡市生まれ。父（故）中村衍涯（福岡県無形文化財）に師事。

83年西部工芸展入選、以後毎年入選入賞。84年日本伝統工芸展入選、以後13回入選。85年伝統工芸人形展入選、以後10回入選。博多人形新作展（東京三越）通産大臣賞。86年西部工芸展 朝日新聞社銅賞、88年伝統工芸人形展 東京都教育委員会賞、97年伝統工芸人形展 文化庁長官賞、日本伝統工芸展高松宮記念賞ほか多数受賞。

96年博多祇園山笠土居流山笠人形制作土居流より表彰、鎮西上人八百年祭、浄土宗大本山久留米善導寺第二祖鎮西上人像製品、中国西安市興教寺大慈恩寺大雁塔、玄奘法師取経像奉納、天台宗比叡山瑞応院 山田恵諦座主製作、97年ハワイ高野山真言宗弘法寺住職沖村栄昇像制作、芸州広島誓願寺開祖 安楽庵策伝上人像制作、98、99年博多祇園山笠土居流山笠人形制作、2000年岐阜県現代陶芸美術館買上 南蛮夢想、01年博多松囃子生人形制作 高砂翁・嫗像。

日本工芸会正会員、日本工芸会西部支部役員、人形幹事、日本工芸会会報委員。

赤司 善彦（あかし よしひこ） 九州国立博物館アジア文化交流センター展示課長



1957年生まれ。明治大学卒業。

福岡県教育庁文化課、九州歴史資料館等を経て、2005年より現職。

専門は考古学。

大宰府史跡の調査・保存活用に長年携わる。九博の展示ではハンズオンなど分かりやすく伝える試みに執念を燃やす。

磯村 幸男（いそむら ゆきお） 福岡県教育庁総務部副理事兼文化財保護課長



1972年北海道大学文学部史学科卒業。

72年福岡県教育庁文化課、97年文化庁文化財調査官、2002年主任文化財調査官を経て、06年より現職。

専門は日本古代史、特に賤民史、現在は古代山城に興味をもつ。

著書に、「日本城郭大系」巻18 福岡県分編集（新人物往来社、1979）、「大宅朝臣可是麻呂の貢賤について」（『田村圓澄先生古稀記念論文集』（吉川弘文館、1987）、「北部九州の古代防衛施設」『城・館を掘る・読む』（山川出版社、1996）ほかがある。

パネル出展団体一覧（平成20年10月2日現在、五十音順）

NPO法人 （財）	赤坂氷川山車保存会 伊豆屋伝八文化振興財団 今井町町並み保存会 石見銀山ガイドの会 宇都宮市文化財ボランティア協議会 漆刷毛工房ひろしげ	NPO法人	福岡邦楽芸術文化振興会 文化財修復大学院生インターンシップ協議会
NPO法人	NPO文化財を守る会 全国山・鉾・屋台保存連合会	NPO法人	文化財保存活用支援センター
NPO法人	大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ 鬼の岩屋まつり実行委員会	NPO法人	文化財保存工学研究室
NPO法人	小野川と佐原の町並みを考える会 金沢学院大学美術文化学部文化財学科 からむし織体験生（織姫・彦星）事業（福島県大沼郡昭和村役場）	NPO法人	文化財保存支援機構
（財）	祇園祭山鉾連合会	NPO法人	文化財夢工房
（財）	九州環境管理協会 九州国立博物館環境ボランティア	NPO法人	平城宮跡サポートネットワーク
NPO法人	旧モーガン邸を守る会		別府大学文学部文化財学科
NPO法人	ぎょうだ足袋蔵ネットワーク 京都国立博物館 文化財保存修理所 修理者協議会 京都造形芸術大学歴史遺産学科	（財）	紅花の栽培と紅餅 長瀬 正美 放下鉾保存会
NPO法人	京町家再生研究会		松ヶ崎妙法保存会
NPO法人 （財）	共楽館を考える集い 黒主山保存会 けやき通りまちづくりの会	（財）	南観音山保存会
NPO法人	小石川後楽園庭園保存会 豪商 稲葉本家 管理運営委員会	NPO法人	宮城歴史資料保全ネットワーク
有限責任中間法人 （財）	国宝修理装演師連盟 古都大宰府保存協会 佐原山車行事伝承保存会 篠原踊保存会	NPO法人	ミュージアムIPMサポートセンター 「山古志 ふたたび展」(新潟県立歴史博物館)
NPO法人 （社）	全国町並み保存連盟 全日本郷土芸能協会 太子山保存会	NPO法人	八女町家再生応援団 読売あをによし賞
NPO法人	大文字保存会 高山屋台保存会 太宰府天満宮境内解説員 太宰府ボランティアネットワーク 歩かんね 太宰府実行委員会 竪穴住居復元プロジェクト 中央区文化財サポーター協会 筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻 鶴子銀山へ続く道を歩こう（新潟県佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課世界遺産推進係） 東京湾海堡ファンクラブ	（財）	頼山陽旧跡保存会 和光市古民家愛好会 ワンコイントラスト委員会
（社）	奈良まちづくりセンター 新潟県立歴史博物館		伝統の技を伝える一選定保存技術保持者 表具用手漉和紙（美栖紙）製作 上窪 良二 漆漉紙（吉野紙）製作 昆布 尊男 唐紙製作 千田 堅吉 表具用刷毛製作 西村 和記 表具用古代裂（金襴等）製作 廣瀬 賢治 表具用手漉和紙（宇陀紙）製作 福西 弘行 美術工芸品保存桐箱製作 前田 友一 本藍染 森 義男
（財）	日本ナショナルトラスト 日本の凧の会		
NPO法人	博多織技能開発養成学校 博多祇園山笠振興会 浜松市博物館 兵庫県立尼崎高校		

問い合わせ先

（株）クバプロ内
文化財サポーターフォーラム事務局

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋3-11-15 UEDAビル6F

TEL：03-3238-1689 FAX：03-3238-1837

E-mail：symposium@kuba.jp

URL：www.kuba.co.jp/bunkazai-supporter